



本年も元気で安全就業を心からお祈りいたします



令和八年 新春号

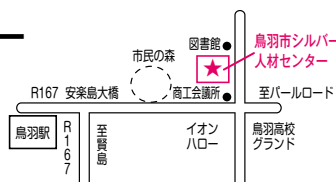
理事長 濱口 一利
役職員一同

編集発行



公益社団法人
鳥羽市シルバー人材センター

〒517-0022 鳥羽市大明東町 1 番 6 号
TEL 0599-25-7341 FAX 0599-25-1164
ホームページ <https://webc.sjc.ne.jp/toba>



新年のごあいさつ



公益社団法人
鳥羽市シルバー人材センター
理事長 濱口 一利



会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、鳥羽市シルバー人材センターに格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年6月1日「改正労働安全衛生規則」が施行されました。このことにより、事業者が熱中症に関する報告体制の整備、悪化防止措置のための手順作成および関係者への周知が義務付けられました。

酷暑が続く夏場の働き方、暑さ対策については就任以来、改善策を考えていたのですが、ようやく国が動きました。現場での周知徹底がやり易くなりますので、引き続き、積極的に進めていきたいと考えています。

会員数につきましては、男女合わせて157名と微増に留まり、会員の高齢化も進んでいて、当センター会員の平均年齢は73.5歳と高くなっています。特に女性会員数が少なく課題となっています。

全国と比較すると少しは若いのですが、会員の高齢化が車の運転業務、ホテルでの作業や草刈り業務にも影響を及ぼしております。また年ごとに、会員の健康状態にも特に配慮が必要となってきました。

少子高齢化が進んでいると随分前から言われていますが、これは鳥羽市だけではなく、日本各地の特に地方の小さな市町村で顕著に表れている現象です。しかし、日々の暮らしの中で実感として感じるがあると、少し寂しくなります。

そのような状況を踏まえた中で、事業の推進を図っていますが、所管の鳥羽市観光商工課には強いご支援を賜り、建設課はじめ農林水産課、健康福祉課、教育委員会からも新規事業の発注を頂戴しました。

また、鳥羽市と「空家等の適正な管理の推進に関する協定書」を締結いたしました。これは、身近なところから暮らしやすいまちづくりのための環境整備策ですが、会員にとっても、これまで以上に当該事業を通じて、地域社会への貢献とともに就労機会の増大につながると期待しております。共に協調して成果につなげていければと思います。

新しい年を迎え、地域社会の活性化に貢献するとの大きな目標を持って、共に働ける環境づくり、会員の皆様に安心・安全を第一に考えて事業推進を図っていきたく考えています。

結びに会員の皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。

令和7年4月より、多くの市民の皆様からの力強いご支援と、温かいご厚情を賜り、市長に就任いたしました。私の使命として、鳥羽市に変革のスイッチを入れ、変革が実現できると実感を市民のみなさんに持っていただけのように取り組んでいくこと、そして、鳥羽駅周辺エリアの課題解決や子育て世代をメインとしたインクルーシブな居場所づくりにより、住み続けたい鳥羽市にすることを重点として、まちづくりを進めております。

さて、生産年齢人口が減少し、労働力不足が深刻化する中、鳥羽市の経済を持続的に発展させるためには、生産性向上の取組と併せ、働く意欲のある方一人ひとりが活躍できる職場環境づくりを一層進めていく必要があります。特に、高齢者がこれまで培った能力や経験を生かし、いきいきと活躍し続けられる「生涯現役社会」の実現に向け、社会全体が一丸となって取り組んでいくことが強く求められています。



鳥羽市長
小竹 篤



令和7年4月より、多くの市民の皆様からの力強いご支援と、温かいご厚情を賜り、市長に就任いたしました。私の使命として、鳥羽市に変革のスイッチを入れ、変革が実現できると実感を市民のみなさんに持っていただけのように取り組んでいくこと、そして、鳥羽駅周辺エリアの課題解決や子育て世代をメインとしたインクルーシブな居場所づくりにより、住み続けたい鳥羽市にすることを重点として、まちづくりを進めております。

さて、生産年齢人口が減少し、労働力不足が深刻化する中、鳥羽市の経済を持続的に発展させるためには、生産性向上の取組と併せ、働く意欲のある方一人ひとりが活躍できる職場環境づくりを一層進めていく必要があります。特に、高齢者がこれまで培った能力や経験を生かし、いきいきと活躍し続けられる「生涯現役社会」の実現に向け、社会全体が一丸となって取り組んでいくことが強く求められています。

こうした中で、シルバー人材センターの皆様と連携しながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。皆さまのご意見やご提案を積極的に伺い、より良い地域づくりに努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

結びに、貴シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

さて、生産年齢人口が減少し、労働力不足が深刻化する中、鳥羽市の経済を持続的に発展させるためには、生産性向上の取組と併せ、働く意欲のある方一人ひとりが活躍できる職場環境づくりを一層進めていく必要があります。特に、高齢者がこれまで培った能力や経験を生かし、いきいきと活躍し続けられる「生涯現役社会」の実現に向け、社会全体が一丸となって取り組んでいくことが強く求められています。



2026年
午年 年男 9名



84歳になる方(昭和17年生まれ) 2名
72歳になる方(昭和29年生まれ) 7名

2026年
午年 年女 4名



84歳になる方(昭和17年生まれ) 1名
72歳になる方(昭和29年生まれ) 3名

2025年 主な開催行事



○鳥羽市と空家等の適正管理に関する協定締結式
九月二十六日 市長室にて
「鳥羽市空家等対策計画」に基づき市と当センターが連携して適正管理

令和七年の出来事



○「三重県シルバーの日」
十月十四日に実施した活動報告
①草刈り・清掃奉仕活動
於：ひだまり西側駐車場



③高齢者向け
交通安全教育
講師：三重県交通安全協会



②会員募集啓発活動
会員募集チラシ配布
於：佐田浜定期船乗り場
付近



○TOBAひだまり
フェスタ2025
十一月十五日に、市民
体育館で開催され、参加
しました。
小物体験製作・フリー
マーケット



○「安全・適正就業パト
ロール」
十月二十四日に実施
市民の森草刈り及び
ホテル清掃



シルバー人材センターのご案内

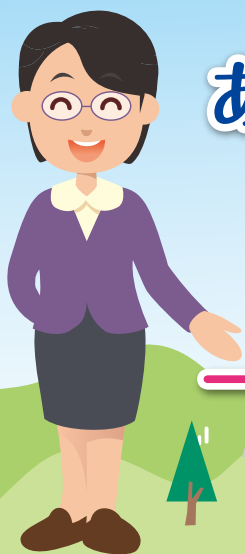
女性会員も
活躍中！

60歳をすぎたら

あなたもシルバー人材センターへ

元気な仲間と

一緒に働きませんか



健康で働く意欲のある会員を募集しています。

入会できる方は

鳥羽市に居住する、原則 60 歳以上の健康で働く意欲のある方で、入会説明を受け、シルバー人材センターの趣旨に賛同された方。ただし、理事会の入会承認が必要です。

入会の方法は

入会説明会へ参加し、入会申込書類一式と年会費 3,120 円をセンターに提出してください。

仕事は

会員は自分の希望する仕事を登録し、センターは発注者から依頼のあった仕事を会員へ提供します。会員は仕事の提供を受け、その仕事をするかどうかを判断し、引き受けるときは請負・委任の形で就業します。

※また、仕事以外にも、地域におけるボランティア活動や各種イベントなどにご参加いただけます。

入会説明会

入会申込受付 随時受付いたします

場 所 当センター事務所

ご持参いただくもの 筆記用具

説明会当日に、入会申込みの手続きを行う場合は、下記をご持参ください。

①百五銀行か郵便局の通帳(本人名義)

②年会費 3,120 円(入会月により変動)

※なお上記金額には、傷害・賠償責任保険料を含む

お問い合わせ・お申し込みは



公益社団法人

鳥羽市シルバー人材センター

〒517-0022 鳥羽市大明東町 1 番 6 号

TEL 0599-25-7341 FAX 0599-25-1164

ホームページ <https://webc.sjc.ne.jp/toba/>

